

防災の三助とは、災害による被害を最小限にできる社会を実現するために必要な防災上の取組です。

- 自助：「自分の命は自分で守る」…自分と家族の命や財産を守るために、自ら防災に取り組むこと。
- 共助：「被災者同士で助け合う」…近隣住民や被災者が互いに助け合うこと。
- 公助：「行政の支援を受ける」…町や消防・警察などによる公的な支援のこと。

※自助は自分一人または家族という小さな単位、共助は家族とその周辺の人を含む中くらいの単位、公助は行政という大きな単位における防災対策です。「防災の三助」の役割をしっかりと理解し、もしもの時に備えることが重要です。



大規模災害時の「公助の限界」

大地震などの大規模災害発生下では、行政が全ての被災者を迅速に支援することが困難であったり、行政自身が被災して、機能が麻痺する事態に陥る可能性があります。

また、災害の規模が大きければ大きいほど「公助」の支援は難しくなります。

効果的な「公助」の展開には、発災後1週間程度はかかると考えておく必要があります。

お問合せ 防災センター ☎24-9280

求められる「自助・共助力」!

阪神・淡路大震災では、約8割の人々が「自助」・「共助」により救出されました。今、地域コミュニティにおける「自助」・「共助」による「ソフトパワー」が見直されています。

災害対策の基本は、一人一人が防災意識を高め、「自助」の力を高めることです。また自分一人では対応できなくなったとき、頼りになるのが「共助」です。「公助」には限界があり、「自助」・「共助」の質と量を向上させることが防火対策として重要であると言われています。

それにはまず、「自助」(備え)をパワーアップし、そして、一人でも多く助ける側の人になることです。「共助」のために、日頃から地域の人たちと「顔の見えるお付き合い」をしておくことも大切です。地域の役割や行事に積極的に参加して「自助・共助力」を高めましょう。

できる? ドライブマナー A/Cスイッチ、知っているとトクをする

「そのスイッチは冷房と除湿のときに使うんだよ」だってやっぱ私の上司スマートフォンだと思っちゃったよ

外回り中、車の中がちよつと寒かったから暖房入れるためにA/Cスイッチ押したら

エコドライブ

エアコンの使用は適切に

車のエアコン(A/C)は車内を冷却・除湿する機能です。暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。また、冷房が必要なときは、車内を冷やしすぎないようにしましょう。車内の温度設定を外気と同じ25℃に設定した場合、エアコンスイッチをONにしたままだと12%程度燃費が悪化します。

～できることから始めよう～

ゼロカーボンシティ ひだかがわ

■エコドライブとは

燃料消費量やCO2排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる「運転技術」や「心がけ」です。また、エコドライブはお財布にもやさしく、交通事故の削減にもつながります。誰でも今すぐ始めることのできるエコドライブ。普段の運転から意識してみませんか?

(環境省「COOL CHOICE」)

日高川町住宅用蓄電池システム設置補助金のご案内

日高川町では、地球温暖化防止対策の一環として、エネルギーの自給率の向上および災害に強い地域づくりに寄与するため、太陽光発電システムを同時に設置するまたは既に設置している方が、新たに住宅用蓄電池システムを購入し設置する場合、費用の一部を補助します。詳細は町ホームページをご確認ください。

お問合せ 企画政策課 ☎23-9511



地元企業紹介

日高高校中津分校 高校3年生による

Emkasee Industrial Co., Ltd. 和歌山工場

本ページは、地域学習の一環として、日高高校中津分校の3年生が、町内の企業を取材し、記事にしたものです。

Vol.4

取材先の企業情報

会社名 エムケーシー工業株式会社 和歌山工場
所在地 日高川町玄子45
本社 兵庫県伊丹市森本7-114
創業 1972年10月1日
従業員 33名
企業説明 創業50年の確かな技術で主にアルミ、鉄、ステンレス等の金属加工から溶接、塗装まで一貫した生産体制を備えている。
目標 創業50年の確かな技術で社会基盤整備に貢献する。
求めている人材
・図面がわかる人・人間らしさがある人
・素直な人・人と協力ができる人・信頼できる人

私たちが取材しました!是非、ご一読ください!!



□ **Mazak (3Dレーザー加工機)**
一番目立っていたのはこのMazakという機械でした。この機械は鋼管、角管、チャンネル材、アングル材など、長尺鋼材などをレーザーで加工する機械です。どんな複雑な形状も3次元可動レーザーで精密に切断加工することができそうです。

□ **社員さんの気持ち**
誰かのために日高川町で仕事を増やせたらと思う。1人でも多くここで仕事ができるように、創業100年を目指して会社を続けたい。

□ **感じたこと**
社員の方々が「裏方であっても一人一人が自分の仕事に誇りをもって働いている。」と言っていて、僕たちはすごいなと思ったし、今自分がやっている仕事に誇りをもって働いているところ、心被打たれました。
そして、少ない人数ですが一人一人が自分の役割を理解し、行動している姿に役割を全うするすごさを感じました。働いている方の中には外国の出身者もいらっしゃる。自分の国や実家に帰ることなく働いています。その方たちは日本語も十分話せない中でも自分がする作業の工程をすべて熟知していて、話すのも困難な中、異国の地で暮らしているということが自分たちには想像もできないことなので、すごいなと思いました。
この企業訪問を通じて、会社の成り立ちや働いている方々の本気の気持ちや直接聞いていい勉強になりましたし、これから僕たちも生活するために働いていかなければいけないので、今働いている方々の考え方や想いを聞くことができてとても良かったです。